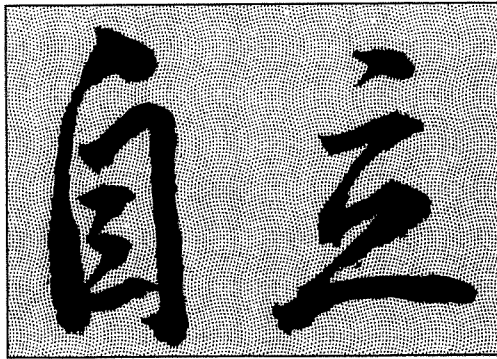




(低料第三種郵便物)



2026年3月発行
社会福祉法人 ありのまま舎
(障害者自立企画)

発行責任者 白江浩
編集 佐藤環

〒982-8544

仙台市太白区西多賀4丁目19-1

TEL 022-243-1300

<http://www.arinomama.or.jp/>

E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

1976年2月13日発行
第3種郵便物認可(毎週4回・火・木・金曜日発行)
SSKO通巻12135号

感染症対策

―令和7年度を振り返って―

今年度はクリスマスコンサートなど施設内の行事が再開され、コロナ前の日常が戻ってきた実感を得ることができた一年でした。10月に太白ありのまま舎で入居者とスタッフがコロナウイルスに感染し、一時入館制限を行いました。改めて感染力の強さを実感しました。また亘理ありのまま舎でも入居者一名のコロナ感染がありました。また感染拡大はせず収束することができました。

クラスターが発生した場合、現在の形態や学会の知見に基づいて、過剰に対応が取れるよう「研修・シミュレーション」を行っています。その経験が活かされ、状況を判断しながら的確に対応することができるようになりました。決して油断せず、今後も定期的な研修と日頃からスタンダードプリコーション(手洗い・手指消毒・マスク着用・検温)に努めていきたいと思えます。



太白ありのまま舎での研修

会報「自立」カラー印刷へ

おとうご
会報「自立」を
お読みいただきありがとうございます。
令和7年度は主要なイベントの発行に際しては、印刷業者の検討の結果、印刷が可能なカラー印刷を行いました。令和8年4月発行の会報は、伝わりやすさを求めて参ります。今後とも活動の報告と感謝を全国にお伝えしたいと思います。



薫る風

遂に、カラー化を実現した。これまでも試験的にカラー印刷したことはあるが、これからは毎号カラーにすることにした。手前みそな話で恐縮ですが、編集を担当している佐藤さんの頭の下がる努力があったり、実現した。最近ではネット印刷を使ったり、原稿は言うに及ばず、割付等全体レイアウトなど、出稿までにどれだけの手間をかけるかかけないかで、料金に差がでる。カラー化の最大のネックは印刷料金で、現在の経費を維持したまま、どこまで完成度を挙げればカラー化が実現するかが課題だった。ここに来て、完成度をさらに上げて発注すれば、現在の経費に近い料金でカラー印刷が可能だ。佐藤さんが見つけてくれた。今より更に手間が増えてもカラー化を目指してくれたことに、本当に感謝したい。印刷経費の多くは広告で賄っている。そのほとんどが「広告」とは名ばかりで、寄付に近い。自立の広告が収入増に繋がっているとは思えないが、皆さん、長年にわたり協力を惜しまずに続けて下さっている。昔は、広告をとるのが大変で、それだけで数日走り回っていた。それが継続して広告を頂けるようになった。それが継続して広告。また、発送にあたっては、帯封の糊付けや、二つ折りにして発送できる状態にするために、多くのボランティアの方が手伝って下さっている。こうしたご協力、ご支援はありのまま舎ができてからずっと続いている。しかも代替わりしながら継続して頂いている。こうしたお支えなしに、これまでのありのまま舎も、これからのありのまま舎も存在しない。いつかこうした全ての作業がロボットでできるようになるのかもしれない。原稿もAIが書いてくれるのだろう。でも、そうして届いた「自立」が、本当に伝えたいことは「便利さ」以外に何があるのだろうか。

(白江浩)

令和8年度 第37回ありのまま生活福祉講座講師決定!

第37回ありのまま生活福祉講座の日程と講師が決定しました。座長の彬子女王殿下にご指導を賜り準備を進めております。福祉と文化について幅広く学ぶ機会として毎回ご好評をいただいています。ぜひご参加ください。

【第37回ありのまま生活福祉講座】

令和8年6月13日(土)

13時半～16時

場所 中小企業活性化セン

ター多目的ホール

(AER5階)

座長 彬子女王殿下

講師 藤澤 紫氏

(國學院大學文学部哲学科
教授・国際浮世絵学学会常
任理事)

講師 石川 准氏

(静岡県立大学名誉教授・
内閣府障害者施策委員会
委員長・国連障害者権利
委員会副院長歴任・第25
回ありのまま自立大賞特
別賞受賞)

受講会員大募集!

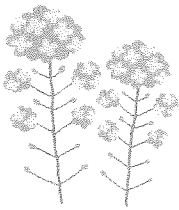
【特典】

毎年講座のご案内をお送りします。会員の皆様には受講ノートを発行し、講座に参加する度に、抄録、受講印・オリジナル座長印が押印されていきます。入会金1,000円(初回のみ)年会費2,000円(毎年)

◆一般受講料は2,500円です。会員の方は年会費2,000円で受講できます。

◆ご参加できなかった場合でも講演内容をまとめた抄録をお届けします。

各方面で活躍されている方々を講師にお招きし、毎年好評をいただいている講座です。福祉は文化のように身近にあるものとして考えるきっかけになればと思います。



仙台エリア

「ホームケア仙台ありのまま舎リビングセンター」

入居者のIさんは長年バスで通所に通ってまいりました。最近身体の痛みがありバスに乗る際に苦勞していること、また雨の日は歩いて行くのが難しいためお休みせざるを得ず、通所の前日から心配事が絶えませんでした。仕事には行きたいけれど心の負担になっていました。お話を聞く中で、B型事業所の方に送迎の相談をしてみることになり、ご自身でお伝えし、事業所の方が送迎対応して下さることになりました。今では心配事が減り、週3回元気に仕事に通われています。

「自立」とは「ひとりでもできること」ではなく、「必要な助けを周りに相談できること。依存先を増やし関係性を広げていくこと」と言われています。障害を持った方に限らず、誰もが社会で生活していく中で周囲を頼り、豊かな関係性を築きながら生活をしていると言えます。なかなか通所に出かけられなかった時は自室で過ごすことが長かったIさんは、仕事に出かけ役割を持ち、他の利用者やスタッフの方から頼りにされ、やりがいのある時間を送ることができるようになりました。

(佐藤環)

【サポートケア仙台ありのまま舎(難病・障害者相談支援センター)】

令和8年2月に太白区自立支援協議会・実務者ネットワーク会議に参加しました。今回は児童発達支援、放課後等デイサービス、支援学校等、障害のあるお子さんの支援に携わっている方々を中心に、「こどもの支援について考えよう」というテーマでグループワークがありました。利用しているお子さん、ご家族や付随することへの支援方法や各事業所さんがどのように支援しているのかを話し、様々なアプローチ方法があるのだと学びました。

その中で印象的だったのが、現在の業種でも叫ばれている「人手不足」についてでした。事業所さんとしては、ご利用頂いているお子さんのご家族から色々なご要望があり、応えてあげたい」という思いがあるものの、職員体制上良いお返事をすることができず、申し訳ない気持ちと無力感があるようでした。相談員として、ご本人、ご家族のご要望・ご希望が叶えられるように努めています。今後は今回事業所さんから教えて頂いた「人手不足で大変な中でもできる限りのことを頑張っている」という現状に大いに感謝もしつつ、微力ではありますが、ご本人・ご家族と事業所さんの懸け橋になれるように努めていきます。

(相澤誠一)

医療法人社団静実会

【法人理念】「やさしさと気配りをもって、赤ちゃんからお年寄りまでを診る地域の家庭医を目指します。」を念頭に「住み慣れた町で、なじみの関係を大切にその人らしく自由に生活していただく」を推進します。

地域連携室 TEL: 022-796-6590 FAX: 022-796-6538

ないとうクリニック(内科・小児科・リハビリテーション科・訪問診療・通所リハビリ)

TEL: 022-281-5490 FAX: 022-281-5491 (ないとうクリニック)

TEL: 022-796-6943 FAX: 022-796-6944 (通所リハビリ)

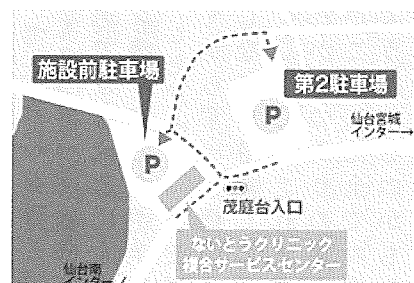
ないとうクリニック訪問看護ステーション

TEL: 022-796-9320 FAX: 022-796-9321

かがやき TEL: 022-796-6957 FAX: 022-796-6958

ないとうクリニック居宅介護支援事業所

TEL: 022-796-1871 FAX: 022-796-1872



【仙台市基幹相談支援センター】

仙台市障害者基幹相談支援センター事業受託の2年目が終わろうとしています。初年度は年度途中からのスタートでしたので、2年目とはいえ通年を通しての事業運営は初めて。とにかく歩みを止めない、そんな一年だったと思います。

研修会の実施や支援者支援の他に、自立支援協議会(以後「自立協」)へのより一層の参加に取り組んできました。自立協運営の根幹である運営会議への参加を各区担当者に働きかけ、これまでの運営メンバーに諮っていただき、5区の運営会議に参加できるようにになりました。区ごとにこれまでの歴史や経緯があり、立場の違う者同士が集まるこの合議体の中で、私たちの参加について諮るといふ行程があるのとは違い、自分たちの立ち位置が今と違うものになってきたかもしれず、ひと手間かけてもらったことに感謝です。同じ目線で話してもらえらることを目標に、お手伝いできることを見つけて役立ててもらおうことからは始めた1年。自分たちが果たせる役割は未知数ですが、協働の経験を重ねたこの縁は今後に繋がるものだと思います。引き続きよろしく願います。

(板橋政江)



1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回月・火・木・金曜日発行)

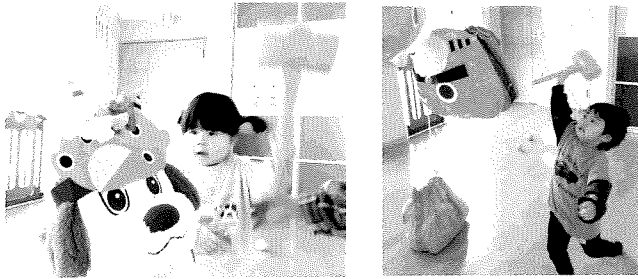
茂庭台エリア

【チャイルドケア仙台ありのま舎保育園】

暖かく心地よい日が増えてきました。お散歩や戸外遊びが楽しくなりますね。

今年の冬は、雪が積もっても寒さが厳しかったり、体調が整わなかったりと冬の遊びを楽しむ日が少なく、少し残念でした。そんな中でも、雪遊びができた日は、不思議さと嬉しさのある、とても可愛らしい表情を見せてくれ、私たち職員にとっても良い思い出になりました。

その際に、大人は寒さや冷たさから、すぐに室内へ入りたく



たくさん遊んだ1年でした

なりますが、大人の都合で中へ入ろうと誘っても納得がいきませんし、せつかくの探求心や好奇心を育む機会を失ってしまいかねません。

雪遊びに限りませんが、大人は少し我慢して一緒に楽しめましょう。子どもなりに納得したり、寒さが厳しいと感じると、自ら遊びをお終いにして室内へ入ろうと誘ってくれます。その姿も可愛らしく、おもしろいですよ。

これからの暖かい季節、また一つ大きくなる子どもたちはどんな遊びに興味を持ち、どんな様子で私たちが遊びに誘ってくれるでしょうか。楽しみです。

(春日麻里)

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎】

【アクティヴィティケア】
昨年の2月に特定技能生が来て、約10カ月間アクティヴィティで入居者やスタッフと関わりを持ちながら、仕事を覚えたり、日本語が上達したりしてきました。そして今年1月に、ミヤンマーから新たに2名、ジンミミコさんとキンナディエーさんが特定技能生として来ました。

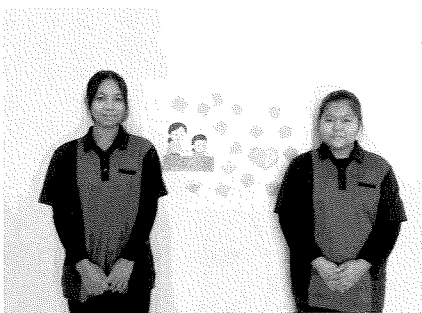
アクティヴィティでは、スタッフが特定技能生と日中活動にきている入居者を結ぶ役割や、簡単な仕事をしてもらっています。

す。その中でも日本語は勉強してきていますが、わからない事が沢山あります。一つ一つ丁寧に伝え、時にはタブレットを用い、画像や翻訳しながら学んでもらっています。

二人はとてもまじめに聞いてくれ、一つ一つメモを取りながら日本語を覚えようと頑張っています。そして将来的には介護福祉士の試験を受けようとしています。

まだ日本に来て2ヶ月あまり。これから仕事で使う言葉や福祉の用語について、負担の無いように少しずつ伝え、そして一人で少しずつ仕事ができるようになっていってほしいと思います。

(佐藤信広)



ジンミミコさんとキンナディエーさん入居者と一緒に折ったイチゴと一緒に。

名取エリア

【サポートケア名取ありのま舎(難病・障害者相談支援センター)】

今月は脳梗塞後遺症で左半身麻痺のあるYさんにインタビューをしました。Yさんは就労継続支援A型事業所でお仕事をされています。

① 平日の一日流れ

朝5時に起きて7時半過ぎに仕事へ向かいます。早めに到着するので、仕事開始までは、車を綺麗にしたりしています。仕事は、主に工場で作った椎茸を各スーパーに運ぶ仕事をしています。

② 好きなこと

昔からドライブが好きです。以前は、気仙沼の大谷海岸や定義山、白石城などへ行きました。今は、仕事の際に見える外の景色を楽しんでいます。4月になったら、柴田町の美しい桜を見るのがとても楽しみです。

③ これからの目標について

今の仕事をこれからも続けていきたいです。一人暮らしも気に入っています。健康に気を付けて元気に過ごしていきたいです。

優しいお人柄で真面目に仕事をこなすYさんは、職場での評価が高いです。今後もご本人のペースで今の生活が継続できるようにサポートを続けていきたいと思っています。(平賀愛)

巨理エリア

【サポートケア巨理ありのまま舎基幹相談支援センター】

1月26日(月)に当センター主催の権利擁護・虐待防止の取組事業「障害者虐待防止研修会」より良い支援を目指して」を開催しました。

当日は宮城県障害者権利擁護センター・宮城県障害者差別相談センター所長を講師に招き、「障害者虐待防止」権利擁護における苦情とクレームとカスタマーハラスメント」と題し、講話をいただきました。

講話の中で事例を通し、参加者同士で意見交換の時間を持ちながら、虐待防止のために先ず利用される方の障害特性を理解する事や常日頃からの支援者との関係性がとても大切であるという事が印象的でした。

また研修後のアンケートでは「苦情は嫌なものではない。逆にSOSの発信でもあるため良い支援のヒントと気づけた」「苦情やクレームを丁寧に対応する事が良い支援に繋がる」等、参加者からも、日々の業務を振り返る良い機会であったとたくさん意見がありました。

今後も支援者の皆さんが自己研鑽に励めるような研修内容を企画していきたいと思えます。

(蒲生豊)

【サポートケア県南ありのまま舎(難病・障害者相談支援センター)】

毎日多くの相談利用者の皆様から電話等でご相談や近況などをお知らせ頂いています。2月は気温の上がり下がりがあり、印象の中で体調面のお話を聞かせていただくことが多かったです。睡眠リズムが安定しない、何かふらつくと思ったり血圧が低かったりして就労事業所を休んだりした、風邪引いたわけでもないんだけど熱が出ちゃって、といったお話を伺うことがありました。

体調の維持には食事をしっかりと摂ることや睡眠を確実に取って翌日に疲れを残さないことなどが基本になるのかと思いますが、日々の生活の中ではなかなか難しい場面もあるうかと思えます。利用者の皆さんからお話を伺う場面でもっともらしいことのお話をしてみたいですが、自分自身に置き換えた時は十分に心身の健康に向き合えていないなど少しの振り返りや反省にもつながっています。

相談支援事業の中では、福祉サービスの利用のお話だけではなく、人との関係性や健康面、普段の活動、興味関心ことなどお一人おひとりの生活への向き合いを大事にしています。これからも多くの皆様の声に事業所として寄り添わせて頂きます。

(齋藤栄樹)

【難病ホスピスケア巨理ありのまま舎(アクティヴィティケア)】

2月より、ミヤンマーからの特定技能実習生としてカイン・ザー・ウィンさんと、ティン・ティン・トゥさんの2名がスタッフとして加わりました。人と関わる介護の仕事に携わってみたいという思いで来日されました。

現在はケア・アクティヴィティ(生活介護)のスタッフとしてフルタイムで働いています。初めの1か月の目標として入居者・利用者の名前を覚えることとして頑張っています。お二人に今の思いを聞いてみました。

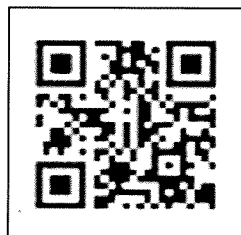
カインさん
「日本に来て寒さに驚きました。少しずつ暖かくなってきました。生活にも仕事にも慣れてきました」
ティンさん
「日本とミヤンマーは気候が全然違うので大変でした。でもだんだん生活にも、仕事に慣れてきました」



ティンさんとカインさん

【ありのまま舎ホームページ】

ホームページのQRコードです。各事業所や出版物の紹介、ご支援いただきたい内容なども掲載しています。ぜひご利用ください。



今年一番寒い1月下旬に入国してお二人でしたが、暖かくなり生活、仕事に慣れていけるようにサポートしていきたいと思えます。お見かけした際には是非お声を掛けてみて下さい。

(金子仁)

在宅介護を応援します!!

ケーアイ調剤薬局

〒982-0031 仙台市太白区泉崎1丁目34-16
Tel・Fax 022-743-3161

「支援頂きありがとうございます
ございました(敬称略)」

【書損じはがき等】
26 1/27 ~ 2/26



【バザー提供】
26 1/29 ~ 2/27



(川尻誠)

【ボトルカンパ】

26 1/27 ~ 2/26

花の膳柳生店

(太白区) 8,156円

一品一品を真心込めて大切に
される和食のお店です。当舎
への食事のご奉仕など本当に
大きなお力を頂いております。



花の膳宮城野秋通り店
(若林区) 17,592円

お祝い膳など本当に華やかで
美味しい料理をご提供くださ
ります。「二客一心」のおもて
なしの精神にふれ、いつも学
ばされております。

(鈴木一彦)

【バザー開催日のご案内】

《2026年4月》

- 2日(木) ヨークマルシェ大和町店
- 7日(火) ヨークベニマル山田釣取店
- 9日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば
- 14日(火) ヨークベニマル南吉成店
- 21日(火) ヤマザワ茂庭店
- 23日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば
- 25日(土) ありのままショップセル
(仙台ありのまま舎)
- 28日(火) 袋原(向日葵ライフ
サポートセンター)



4月からの新年度もバザー一会を
がんばっていきます。

「協力ありがとうございます
ございました(敬称略)」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付
けを、仙台西高等学校JRC有
志・東北学院榴ヶ岡高等学校有
志・個人の皆様にお手伝いいた
だきました。

◆会報の折り込みは、日本基督
教団東北教区仙台東一番丁教会
婦人会の皆様にご協力いただき
ながらお手伝いいただきました。
また、自立ホーム入居者有志の
皆様に、体調をみながらお手伝
いいただいております。

◆バザー会では、各会場でコロ
ナ感染症予防に気を付けながら
お手伝いいただいております。シ
ョップセルの会場でも、開始
準備や片付け等のお手伝いいた
だきました。

【太白ありのまま舎】

宮城県車いすダンス協会様や、
茂庭台ボランティアグループの
皆様などに協力いただいている
活動については、基本的な感染
対策に気を付けながら、活動を
進めていきたいと考えておりま
す。

桜の便りとともに新年度が幕
を開けます。皆様からの暖かい
ご支援に心より感謝申し上げます。
令和8年度も希望を胸に、
一歩一歩歩んでまいります。変
わらぬご協力をお願いいたしま
す。
(遠藤寿子)

ありのまま舎後援会(敬称略)

26 1/6 ~ 2/20
【2025年 個人会費】



【自販機販売設置支援】

◆サントリーブ・ビレッジ
12月分の売上の一部をご寄
付頂きました。

こくみん共済coop

宮城推進本部

965円

ありのまま舎(自立ホーム・太
白ありのまま舎・サポートケア
県南・亘理ありのまま舎)

5,580円



医療法人社団 栄会

仙台デンタルクリニック

北四番丁駅南1出口から徒歩約2分の歯科医院
訪問歯科診療: 訪問エリア→仙台市内 名取市(一部地域) 富谷市

〒980-0802 仙台市青葉区二日町7-28 エイブルスペースビル 2階

TEL 022-398-3422

1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回月・火・木・金曜日発行)